

# RISO MASTER HARDENER BLUE

## デジタルスクリーンマスターへの塗布手順

右のQRコードから  
使用方法の動画を  
ご確認くださいませ



\*1: 各種インクとの適合性については、保証の限りではありません。ご使用の際は事前にテストすることを推奨いたします。



### 補強処理の効果

- ピンホールの発生を抑え耐刷枚数が増えます
- 画像の視認性が向上します
- 色替えしやすくなります

「ご用意いただくもの」

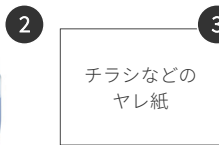
- 1 RISO MASTER HARDENER BLUE
- 2 小分け密封容器（市販品）
- 3 ヤレ紙（版のデザインが収まる大きさ）
- 4 保護手袋
- 5 スキージ
- 6 ドライヤー
- 7 合成セーム革（車の水拭き用 PVA クロスなど / 市販品）
- 8 霧吹き（スプレー / 水を入れておく）
- 9 バケツ（水を入れておく）

— 作業上の注意 —  
製品安全データシート  
「SDS」をよく読んで  
お使いください

※前処理で必要なもの サーマルクリーナー #2、ウエス（大・小）、フレームを置く木材（2本）、霧吹き（水入り）



商品番号：5415  
理想価格：6,600円  
内容量：1kg / 本



### [ RISO MASTER HARDENER BLUE（補強剤）塗布の準備 ]

補強剤は密封容器に小分けにします。

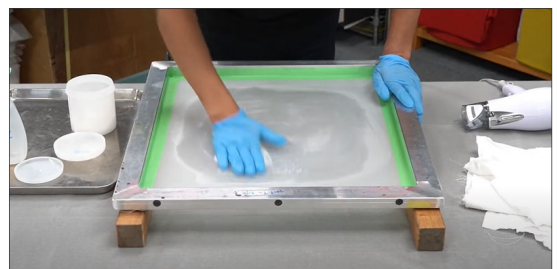
スクリーンマスターに、小分けボトルから適量の補強剤を落と  
して使用します。



### [ 前処理 ]

補強処理前に、「サーマルクリーナー #2」で製版後にフィルム  
残渣を除去してください。

補強剤成分の樹脂がフィルム残渣に絡みつき、インクの通過  
を阻害する原因となります。

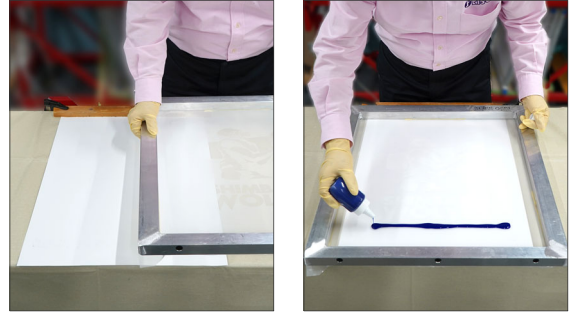


## [ 補強処理 ]

### ① 下準備

補強剤は粘度が高いため、補強剤を吸い取るためのヤレ紙をスクリーンマスターの下に固定します。

次に、スクリーンマスターの上に、小分けボトルから適量の補強剤を落とします。

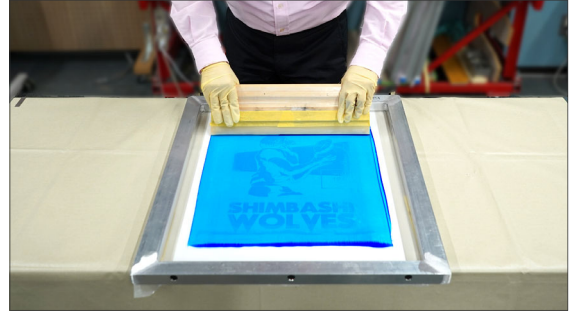


### ② 補強剤の塗布

塗布面をスキージングし、塗膜の厚みを均一に整えます。スキージングは、吸い取り用のヤレ紙に印刷する要領で行います。

#### ポイント

版面以外の余分な補強剤はウエスで拭き取ってください。  
「版とヤレ紙の間にオフコンタクト」を設定すると後の目ぬきが楽になります。



### ③ 仮乾燥

塗布用にプリントした吸い取り紙を剥がし、塗布面を仮乾燥させます。 **目安：常温で30分 or ドライヤー**

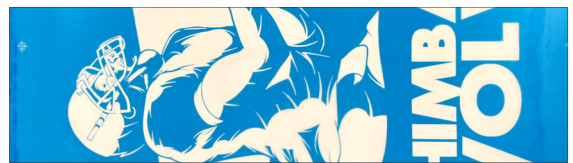
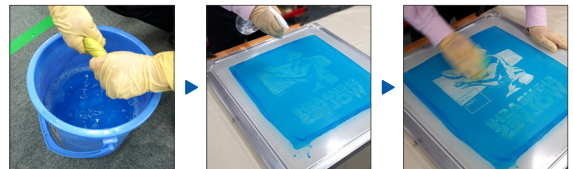
#### ポイント

補強剤の塗布面に触れ、表面に粘着がなくなる程度まで乾燥させます。



### ④ 目ぬき処理 仕上げ

合成セーム革は水を含ませた後、水気を絞ります。  
霧吹きで水を吹きかけ、画像面を潤します。  
合成セーム革でスクリーンマスターのフィルム面を拭き、画像部の補強剤を完全に取り除いてください。



### ⑤ 乾燥

塗布面を乾燥させます。 **目安：温風乾燥5分程度**

温風は塗布面にムラなく当ててください。  
温風で乾燥させることで、被膜が強くなり溶剤インクの使用も可能になります。塗布面が乾燥したら印刷可能です。

